

○ゲーベンクリーム1% [外]

【重要度】 【一般製剤名】スルファジアジン銀 (U) sulfadiazine silver 【分類】外用感染治療剤

【単位】○1% [1個100g]

【用法】1日1回、滅菌手袋などを用いて創面を覆うに必要かつ十分な厚さ（約2~3mm）に直接塗布。ガーゼ等に同様の厚さにのぼし、貼付し、包帯を行う。第2日目以降の塗布に際しては創部を洗浄してから行う。

【特徴】スルファジアジン銀はSulfonamideの誘導体ではあるが、サルファ剤とは異なる作用機序を有し、銀が細胞膜、細胞壁に作用して抗菌作用を発現すると考えられている。グラム陰性菌（緑膿菌、クラブシエラ属）、グラム陽性菌（ブドウ球菌属、溶血連鎖球菌）、真菌（カンジダ属）等に対してMICはいずれも100 μ g/mL以下で、創傷面で菌と直接接触することにより抗菌力を発揮することから、耐性が生じにくい。

【副作用】発疹、白血球減少、疼痛、接触皮膚炎、発赤、光線過敏症、耐性菌・非感性菌による化膿性感染症、貧血、血小板減少など

【吸収】熱傷患者に1%AgSDクリームを14日間反復塗布（平均400g/日）したとき、銀の血中濃度は投与開始後徐々に上昇し、14日目には90.8ng/mLに達した。中止により次第に減少し14日目には54.8ng/mLとなった(1)

【代謝】代謝物であるAgClは抗菌活性を示さない(1)

【排泄】尿中未変化体排泄率57% (13)

【MW】357.14

【更新日】20131118

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。